

事業概要

コンソーシアム名：意思決定支援型生産管理システムの構築

事業概要： 現行業務については、エクセルシート及び紙ベースで管理しており、重複入力・チェックが頻発している。一度入力した情報は、一気通貫に繋がって一元管理ができ、リアルタイムに経営者が迅速な意思決定までできる統合型生産管理ツールを構築します。

【取組地域】

・愛媛県新居浜市・四国

【対象業種】

・製造業・生産管理分野

【対象業務】

・基幹系業務等

コンソーシアム構成員

幹事者：株式会社 F I S **ITベンダー等：**株式会社 F I S
中小ユーザ企業： 萩尾機械工業株式会社

現状の業務課題

製造現場に関わる見積・受注・発注・工程・進捗・売上等は、担当部署において複数のエクセルシートで管理している。データの一元管理が出来ていない。そのため工程の偏りなどが発生しており、ボトルネックによる時間待ちや、無駄な外注などの損失が発生している。また、会計も月次単位の管理となっており、リアルタイムに意思決定するための判断ができない。特に新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響を受け業績の見通しが不透明になってきた。

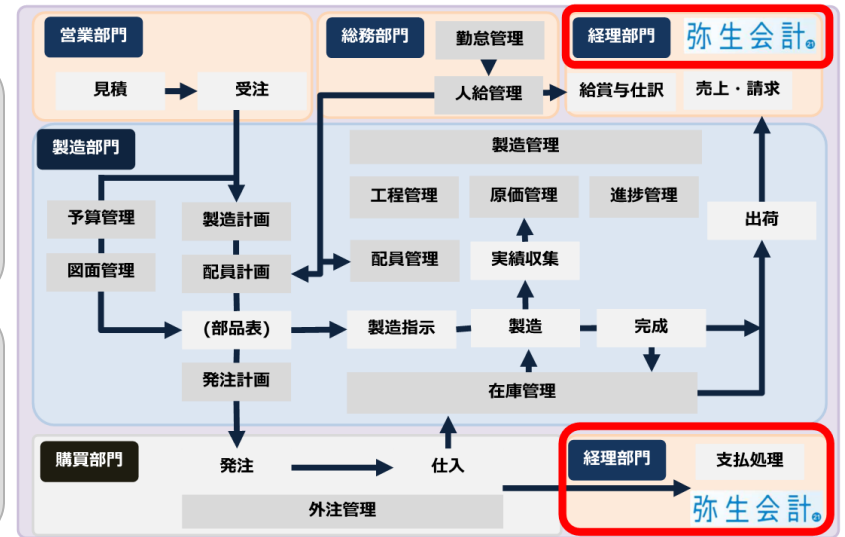
連携させるITツール

凄腕工場長：統合型生産管理ツール
 弥生会計：会計管理ツール

主な取組内容

本補助金の目的である生産管理ツール及び会計管理ツールを導入し、連携開発を予定通り2月26日までに実現しました。全社的な本格的稼働を2021年5月を目標とします。Excel文化、紙文化からデジタル化を目標として業務改革を行うとともに、パッケージに極力合わせたシンプルな運用を目指すこととします。

一度入力した情報は、一気通貫リアルタイムに流れ、最終は経営戦略策定の意思決定に必要な資料をいつでも、どこでも抽出、分析できる仕組みが構築できました。**従来のEXCEL運用と違和感なく運用できるようパッケージをカスタマイズしました。当月分の会計も約20日リードタイムが削減できました。**弥生会計[®]プロフェッショナルを使いこなせるよう更に社員のスキルアップ[®]させていきます。



次年度以降の展望

システムが本稼働し、安定稼働状態に入れば、第1ステップとして地場である新居浜機械産業協同組合への案内も行き水平展開も企画・実行する。新居浜市のモデルユーザとして、効果事例集も作成し、幅広く同業種に展開を企画・実行します。第2ステップとしては、全国をターゲットとするF I S社のネットワークおよび弥生塾ネットワークに乗せ、既存顧客はもちろん新規顧客開拓を行ってまいります。

定量的な成果目標

①労働生産性（事業終了後）

1年後：4%、2年後：13%、3年後22%

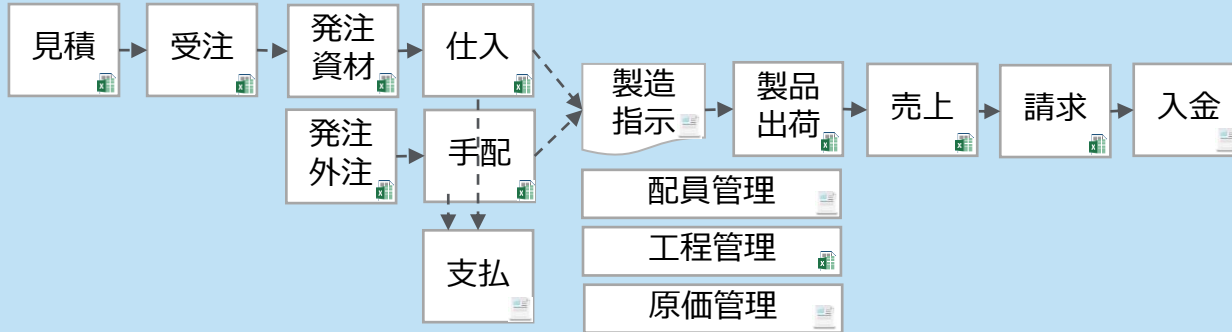
②粗利益向上率（事業終了後）

1年後：23%、2年後：25%3年後28%

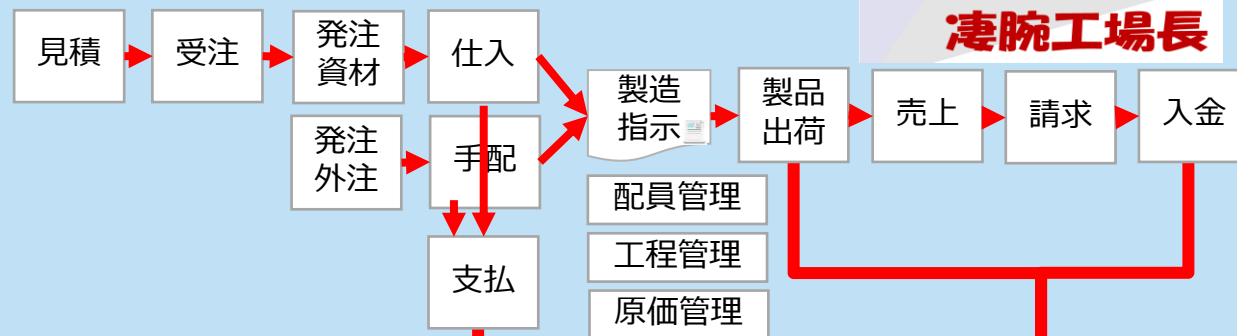
データの一元管理が実現し、一気通貫で経理まで自動連携が実現しました。意思決定が迅速にできる仕組みが構築しました。
 3年後労働生産性が22%の向上が見込まれる。

ITツールの連携による生産性向上の取組（アフター）

ITツール（未導入：全てEXCEL運用）



ITツール（生産管理ツール：凄腕工場長運用）



ITツール（会計管理ツール：弥生会計）

弥生会計²¹

【実施報告までの実施事項】

売上・入金・仕入・支払自動仕訳連携を実現しました。

【今後実施予定の事項】

2021年4月末までの並行運用し、必要であれば、受注・発注自動仕訳連携を構築します。

- ...ITツールのカバー範囲
- ...業務内容
- ...業務の流れ
- ...ITツール間で連携済み
- ...本補助事業で連携予定